

第2回 地域コミュニティ・PTA 部会 会議報告

日 時:令和7年4月23日(水)

午後6時30分～8時 15 分

場 所:川岸小学校 2階 ふれあい教室

1. 次 第

- 1.開会
- 2.配布資料について
- 3.PTA 組織の検討について
- 4.その他
- 5.閉会

2. 概 要

(1) 配布資料について

- ・各専門部会の会議報告
- ・地域住民の PTA 組織に対する意見等
- ・県内義務教育学校および本市の市町村・郡 PTA 連合会への役員選出基準等

(2) PTA 組織の検討について

■部会長からの報告

先日、川岸小・岡谷西部中の PTA の新旧(令和6・7年度)三役および各校の PTA 担当教諭を交え、義務教育学校開校に向けた PTA 組織の意見交換会を実施し、以下の意見が出された。PTA 組織をどうしていくか模索中であり、今後、継続して、PTA の声を拾っていくことが必要。

(意見交換会で出された主な意見)

- ①学校行事がどのようになるか決まらなると、PTA の役回り、組織像が具体的に見えてこない。
- ②役員を選出方法につき、平等性を確保するために輪番制による地区選出、または主体性のある方に担っていただくか、見直しが必要。地区の役員も子どもも減ってきており、小さい地区の状況等も踏まえると、地区編成の検討も必要。
- ③役員の担い手解消のためにも、参加したくなる PTA 組織をつくる。参加によって得られるメリットを示す必要がある。
- ④PTA の負担を減らしていくことも必要。例えば、地域ボランティアの方の協力も得て、PTCA 組織としていくことや Zoom 活用も一つ。

■部会で出された主な意見

・学校行事と PTA 組織とは切り離して考えていく必要がある。当部会で作り上げた PTA 組織が、今後決まる学校行事や学校運営にどのように後押ししていくかという姿勢でよいと思う。

・PTA の負担を減らす上で、スリム化は必要。PTA の活動や組織は、学校行事ありきでなく、まずは子どもたちのためになることが大切。そこに、先生のサポートという視点を加えればよいと思う。

・事業・専門委員会の必要性を見直し、スリム化も進めることで、PTA の役割・組織が明確に見えてくると思う。

・役員の選出は、少子化の中で、地区の小さいところを始め、なり手が見つかりづらくなってきている。その解消の一つとして、役員を担うメリットを保護者に認識してもらうことが必要と思う。そのための手段として、現在、1年となっている任期を2年にするのもよいのではないか。任期が1年では PTA の役割や活動内容がつかめたところで退任となる。2年任期とすることで、PTA に関わるメリットを認識し、保護者同士に共有され、役員のなり手不足解消が図れることも考えられる。また、役員が1年で変わることによる担当教諭の負担軽減にもつながる。ただ、一方で、2年任期のデメリットも認識し、決定していかなくてはならないと思う。

・保護者として参加したい PTA 活動は、子どものためになると感じられるもの。時代に合っていない事業もあると思う。見直しをすることで、担当教諭の負担軽減にもなると思う。

・PTA が何のためにあるものか認識することも必要と思う。

(3) 次回の部会での検討事項

各校の PTA 専門委員会の事業計画をもとに、今後の継続事業を検討

(4) 次回の日程について

5月28日(水) 午後6時30分 開催予定

川岸小学校 2階 ふれあい教室